

平成 29 年度 岩戸養護学校 学校評価報告書 (目標設定、実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加をめざし、 キャリア教育の視点から教育 課程の見直しを図り、生徒が 主体的に取り組む授業作りを 行う。	・生徒が主体的に 取り組む授業作 りを行う。	①生徒の実態把握を十分に行い、指導者 間の共通理解を図る。 ②生徒、教員ともに授業の振り返りによ る授業評価を行う。 ③授業評価を基にした授業改善を行う。	①生徒の実態把握を十分に行い、指導者間 の共通理解を図ることができたか。 ②生徒、教員による 授業の振り返りによ る授業評価を行うことができたか。 ③授業評価を基に生徒の理解度や学習意欲 を向上させる授業改善ができたか。
2	生徒指導・ 支援	・生徒一人ひとりの人権に配 慮し、個別の教育的ニーズに 応じた指導・支援を計画的、 組織的に行う。	・生徒の個別の教 育的ニーズに基 づいた支援を行 う。	①適切な個別の支援計画を作成する。 ②効果的なケース会議の活用を図る。 ③いじめ防止対策を強化する。	①内容の充実した個別の支援計画を作成す ることができたか。 ②ケース会議により生徒理解が深まった か。 ③いじめ防止指導により、いじめを未然に 防ぐことができたか。
3	進路指導・ 支援	・生徒一人ひとりの自己実現 をめざし、自ら選択、決定で きる進路指導・支援を行う。	・在校生の就労後 の定着率アップ のため、卒業生 へのアフターフ ォローを充実さ せる。	①進路指導会議を定期的に設定し、情報 共有を図る。 ②関係機関と連携を図りながら、計画的 に定着支援、アフターフォローを行 う。	①進路指導会議を設定し、進路指導の方向 性について課題の共有ができたか。 ②在学中から卒業後の支援体制の構築に向 けた学習や取組みが行えたか。
4	地域等との 協働	・インクルーシブ教育の推進 を図るために、校内教職員の 理解促進、地域の諸学校、諸 機関への発信、貢献活動を行 う。	・インクルーシブ 教育の理念、シ ステムの理解促 進を校内及び地 域の学校に対し て行う。	①インクルーシブ教育に関する情報を教 員に周知する。 ②地域の諸学校の巡回相談を通じ、イン クルーシブ教育につながる発信をして いく。	①インクルーシブ教育に関する情報を効果 的に伝えることができたか。 ②インクルーシブ教育につながる発信を諸 学校に行うことができたか。
5	学校管理 学校運営	・学校運営の組織的な体制と 安全・安心な学校作りのため の体制の構築を図る。	・防災、被災時の 体制作りを確認 する。	①二次福祉避難所運営の具体的な体制作 りを整える。 ②防災を目的とした学習、引渡し訓練を 行い、より実際の状況に近づける。	①二次福祉避難所の運営体制を整えること ができたか。 ②学習を通して、生徒の防災意識を高める ことができたか。また、引渡し訓練をス ムズに行うことができたか。